



Medical Group AISEIKAI

上飯田クリニック



1 上飯田クリニック概要

血液透析を専門とする透析専門クリニックです。

透析コンソール40台にて昼間コース（月水金、火木土）夜間コース（月水金）の3コースで行っております。

総合上飯田第一病院の腎臓内科はじめ各科と連携を行いながら患者様の健やかな暮らしを支え、守っております。

透析療法

腎臓の機能が10%以下になると、透析により腎臓の働きを代替える必要があります。透析療法には、血液透析（HD）と腹膜透析（PD）があります。

血液透析（HD）

血液を人工臓器（ダイアライザー）に循環させて、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

腹膜透析（PD）

お腹に設置した管から透析液を注入し、お腹にある腹膜を透析膜として利用して、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

2 2012年活動実績

医療安全対策委員会（年12回）、院内感染委員会（年12回）、栄養委員会（年11回）、フットケア・チーム（年12回）の定期的な開催及び各種委員会・看護部主催の講習会等の開催。また、医療安全対策委員会による防災訓練（年2回）やヒヤリハットの分析・業務改善を行い、医療事故防止に取り組んでいます。

患者様の定期的なフットケアを行い下肢の潰瘍・壊死などの予防対策、管理栄養士により、食事の相談・指導・ポスター等による啓蒙活動などきめ細やかな対応を行っております。

3 2013年目標

各部門の専門技術・知識の向上を図り、情報のIT化を推進することで、よりよい透析医療ができるチーム医療を目指します。

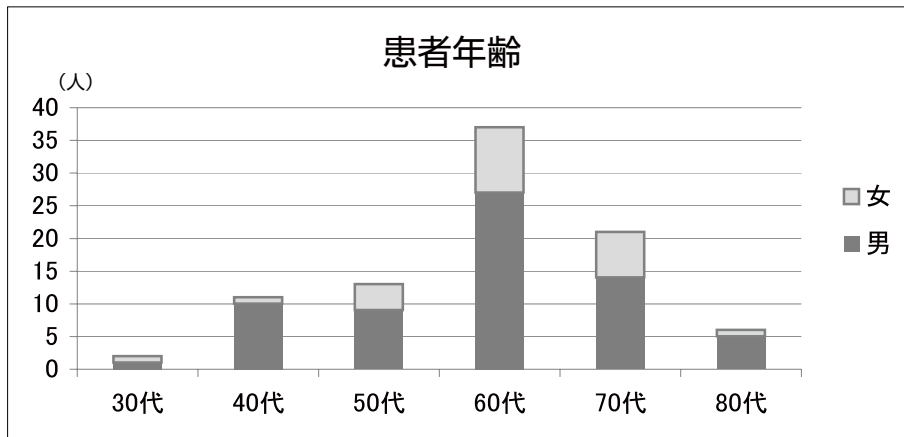
設備関連及び外来患者統計

1 設備関連

- ・対象患者 慢性維持透析患者（外来のみ）
- ・治療クール 昼の部：月～土 9：00～17：00
夜の部：月・水・金 17：00～23：30
- ・治療方法 透析治療 オンラインHDF
- ・治療時間 3～5時間
- ・機器 RO装置1台 セントラル装置1台
多人数用透析装置42台 個人用2台
- ・治療場所 上飯田クリニック2F透析室40床
上飯田クリニック3F病室6床

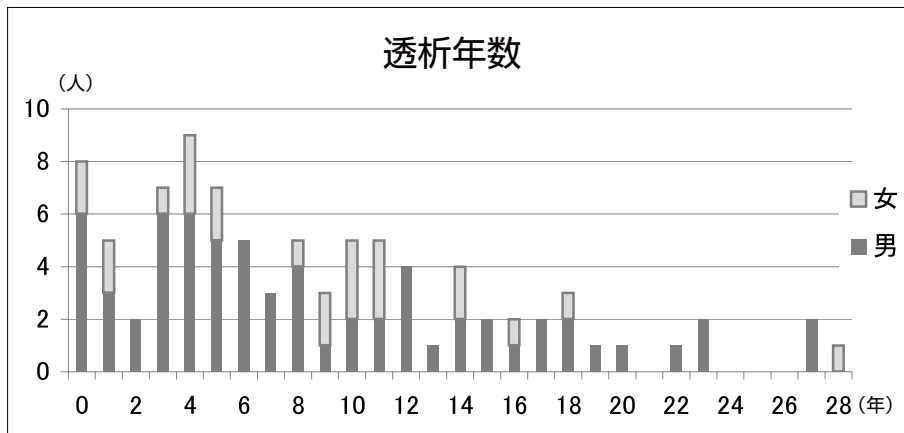
2 外来患者統計

・年齢



※2012年12月末現在

・透析年数



※2012年12月末現在

看護部

上飯田クリニック看護師長 田尻 小枝子

1 特徴

- (1) 看護の理念
愛生会の理念「信頼され愛される病院」に基づいて患者様の生命を尊重し、看護職としての自信と誇りと責任を持って最善の看護に努める。
- (2) 上飯田クリニックの概要
血液透析を専門とする透析専門クリニックで、透析コンソール40台にて昼間コース（月水金、火木土）夜間コース（月水金）の3コースで行っております。
総合上飯田第一病院の腎臓内科はじめ各科と連携を行いながら患者様の健やかな暮らしを支え、守っております。

2 2012年活動実績

各種委員会にて業務改善及び効率化を図っております。
学会、各種講演会等に参加してフィードバックを行い看護の質の向上を図っています。

3 2013年目標

- (1) 看護業務の改善及び効率化を図る。
- (2) 看護の質の向上に努める。
- (3) 愛生会看護実践発表会に演題を提出する。

院内感染対策委員会

委員長 市川 美香

1 特徴

院内感染対策委員会は毎月定例で行い、感染予防の徹底と的確な対応が出来る体制づくりを委員会が中心となって進めています。

感染に対する日々の予防や発生した場合の原因の調査、拡大を防ぐ方策を討議し院内感染対策マニュアルの作成や更新、また、感染講習会を定期的に行っています。

患者様に対しても手洗い・マスクの徹底を呼びかけており、感染対策のポスターなどの掲示も行っています。

2 2012年活動実績

院内感染対策委員会 : 毎月1回開催(年12回)

院内感染講習会 : 年2回開催

(講習会内容: 透析看護における感染対策、ノロウイルス対策について)

- ① MRSA、ノロウイルス、B型・C型肝炎マニュアル更新
- ② 新型、季節型インフルエンザ対策としてインフルエンザワクチン接種(任意)
- ③ 手洗い、マスクの徹底
- ④ ノロウイルス対策(家庭用)のパンフレット作成と指導
- ⑤ 感染対策のポスター作成と掲示
- ⑥ B型肝炎対策としてワクチン接種(任意)
- ⑦ 結核対策としてツベルクリン反応検査
- ⑧ 職員の針刺し事故防止対策の実施と事故後の対応
- ⑨ 細菌検査状況の把握
- ⑩ 感染防止対策の実施状況確認と指導

3 2013年目標

院内感染対策委員会 : 毎月1回開催(年12回)

院内感染講習会 : 年2回開催

職員を対象に院内感染管理の基本的な考え方や具体的方策について教育・講習を行い、患者様や医療従事者の感染リスクを最小限にしていく。

医療安全対策委員会

委員長 富田 亜紀子

1 特徴

医療安全対策委員会は、毎月定例で院内において発生した医療事故及びヒヤリハット・インシデントを統括報告し、重要案件に対して委員会で予防策や改善策を検討し、職員に周知徹底している。

その他医療安全講習会、防災訓練（地震・火災・災害）、透析装置等（新規導入コンソール・輸液ポンプ取り扱い訓練、AED 取り扱い講習、エアー誤入時の対策法など）の実施訓練を定期的及び随時行っています。

2 2012年活動実績

医療安全対策委員会：毎月1回開催（年12回）

医療安全講習会：年2回開催

講習会内容：医療事故について

：リスク管理について

防災訓練：年2回開催

訓練内容：初期消火・全館放送及び避難誘導訓練

：消火器訓練・防災ビデオ（透析業務における震災時の対応）

透析装置等の実施訓練：年4回開催

誤針事故対策マニュアル更新、ヒヤリハット・インシデントの分析

3 2013年目標

医療安全講習会・防災訓練・透析装置等の院内実施訓練の定期開催

ヒヤリハット・インシデントの分析、医療安全の啓蒙活動

東海地震に備えて災害マニュアルの更新を行う

院外の医療安全講習会等の参加

栄養委員会

委員長 山口 有紗

1 特徴

栄養委員会は、給食委託会社（日清医療食品株式会社）とともに患者食・職員食におけるサービス向上を目標に活動している。

個別・ポスター掲示等による栄養情報提供もあわせて実施している。

2 2012年活動実績

- ・ 栄養委員会：年11回（毎月1回開催、都合により4月は中止）
 - 残飯量の報告
 - 職員食アンケート結果の報告
 - 異物混入報告、予防対策の検討→帽子の二重着用化
 - 新商品の採用、行事食の検討
 - 外来献立業務委託、委託業者勤務体制調整
 - 衛生巡視実施改善報告
- ・ 患者食・職員食の残飯計量および記録：毎食後
 - 残飯量の計量と食材の記録を行い、献立作成に反映
- ・ 職員食アンケート：年6回（奇数月に実施）平均回答率66%
 - 主食、主菜、副菜2種、汁物の項目について評価
 - 改善点・・・魚の臭み消しのための下処理、肉料理の香辛料使用量増量、天ぷら提供時の敷き紙使用、みそ汁の濃度調整
 - リクエストメニュー提供・・・カレー（提供頻度を増加）、混ぜご飯、ちらし寿司、天ぷら、ラーメン、ヒレカツ、冷やし中華
- ・ ポスター掲示による栄養啓蒙活動
 - 外来用・・・塩分について、カリウムの含有量比較、災害時の食事、年末年始の過ごし方
 - 職員用・・・間食について、運動の消費カロリー、ごはんのエネルギー量
- ・ 講習会の参加：保健所、製薬メーカー、栄養士会等主催の院内外講習会へ委託給食会社の管理栄養士とともに参加

3 2013年目標

- ・ 職員食の栄養表示を行う
- ・ 患者食および職員食の行事食や新メニューを導入し献立の充実を図る
- ・ 厨房内での異物混入をなくす
- ・ 院内外講習会に参加し、新しい情報や知識の習得に努め、患者への情報提供に役立てる

フットケア・チーム

委員長 田尻 小枝子

1 特徴

腎不全になると閉塞生動脈硬化症を合併しやすくなります。

閉塞生動脈硬化症とは、血管が細くなったり、詰まったりして、手や足などの身体の隅々まで十分に血液が流れなくなる病気です。血流が悪くなると、手や足にできた小さな傷でも感染を起こし、潰瘍や化膿にまで進行すると治療が難しくなります。

特に、腎不全により免疫力が低下していると、感染症が悪化しやすく、手術が必要になる場合がありますので、日頃から足に触れて観察し、足の異常に早く気付くことが大切になりますので、定期的にフットケア・チーム委員会の開催、勉強会の開催、マニュアルの作成、啓蒙活動、情報の共有化をはかり早期対応が出来るようにしております。

2 2012年活動実績

フットケア・チーム委員会 : 毎月1回開催(年12回)

フットケア勉強会 : 年2回開催

フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動(ポスター等)

3 2013年目標

フットケア・チーム委員会 : 毎月1回開催(年12回)

フットケア勉強会 : 年2回開催

フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動(ポスター等)

フットケア講習会等に参加